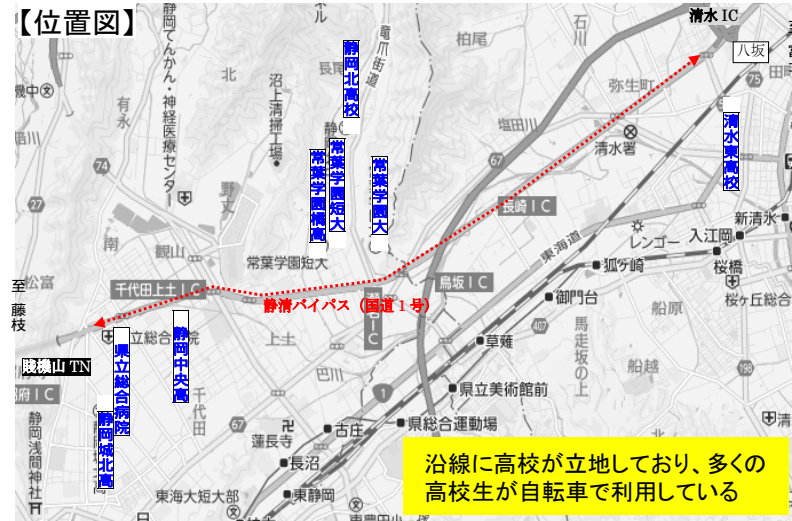


トピックス

静岡バイパス側道自転車走行空間検討ワークショップを開催しました

○静岡国道事務所では、国道1号静岡バイパス(八坂～大岩)の側道部において自転車通行空間の整備を進めています。
○道路利用者のニーズを踏まえ、安全で快適な自転車通行空間を整備し、利用してもらうためのハード・ソフト対策を検討するとともに、自転車利用者のマナー向上を図るため、有識者と道路利用者をメンバーとしたワークショップを引き続き開催します。

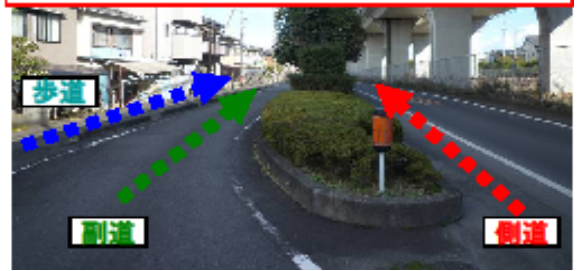
【位置図】



【現状・課題】

- ・自転車関連事故の割合は増加傾向。
- ・自転車対歩行者事故数は10年間で1.5倍に増加。

・自転車の通行空間が明確になっていない
・実際の通行箇所も高校生、住民でバラバラ
※アンケート調査結果より



【ワークショップの開催状況(平成25年3月21日)】



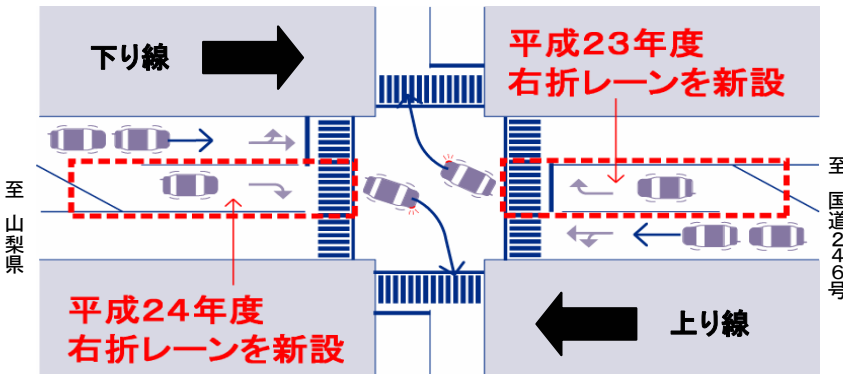
● ワークショップ参加者

- ・埼玉大学大学院 小島助教授
- ・しずおかモビリティ研究会 村井 裕
- ・沿道住民(沿線の連合自治会)・自転車利用者(沿線の高等学校)
- ・静岡県タクシー協会
- ・自治体(静岡市・静岡県)・静岡県警察・静岡県交通安全協会
- ・国土交通省静岡国道事務所

交通事故の多い地点で、事故対策工事を行いました

○国道138号に杉交差点は、右折レーンが無いいため右折車により直進車の進行が阻害され、交通混雑が慢性化しており、交通混雑に起因した追突事故等が平成19年～22年の4年間で6件発生していました。
○そのため、交通混雑・追突事故対策として、右折レーンを新設しました。
○ビデオ調査の結果、上下線とも直進車の阻害の減少、渋滞の低減が確認されました。

【対策図】

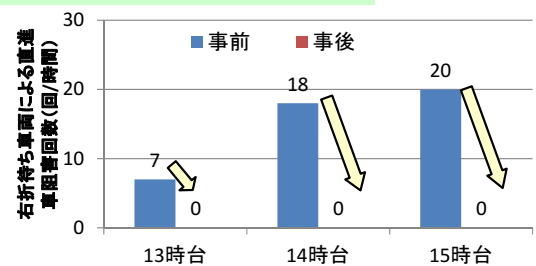


【対策状況】



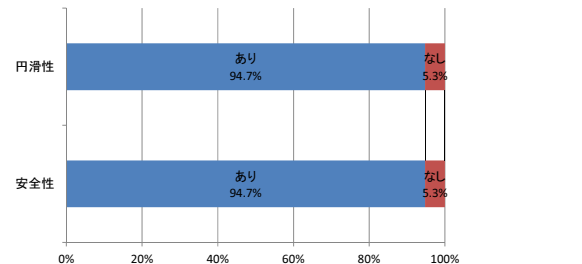
【効果評価結果】

効果1：各時間帯とも阻害は解消！



効果2：道路利用者も安全・円滑性の向上を実感！

9割以上の回答者が安全性・円滑性において効果ありと実感！



※対策実施による道路利用者の意識調査WEBアンケート結果より
月数回以上の通行かつ対策を認知している免許保有者を対象(N=38)